

佛 教 研 究

第 六 卷 第 一 號

大 正 四 年 二 月 發 行

目 次

口 繪……親鸞聖人眞蹟一多證文斷簡一葉	東本願寺藏
玉日の傳説と親鸞聖人御俗姓集	日下無倫
龍樹論師の七十空性偈(承前)	山口 益
伊藤仁齋と戴東原	青木晦藏
オットー教授の著 Das Heilige『聖』に就て	木場了本
ジャバの佛教に就いて	ラバートン
瓜哇佛教史の研究	藤井周慶
先德餘香	南條文雄
芭蕉の風雅觀	能勢朝次
教行信證諸版本展觀	山上正尊

新 刊 批 評

第 五 卷 總 目 録

大 谷 大 學 佛 教 研 究 會

一念多念證文解説

一念多念證文の親戀眞蹟としては唯一本現存するのみ。それは大谷派本願寺に藏する所の「一念多念文意」二卷これなり。卷尾に「康元二歲丁巳二月十七日愚禿親戀八十五歳書之」の識語あるを以て、後世に於ける流布本（これには正嘉元年八月六日の奥書あり）の原本なること明らかなり。

今口繪に出だすところの斷簡一葉は、最近、大谷派本願寺寶庫より發見さるゝ所にして裏面に左の識語あり。

「尾州犬山ノ遠藤宗善御心指に上申候

月五日 元和十年三月十五日」

以て本書の傳來を知るを得べし。世に親戀の眞蹟として傳ふるもの頗る多くして、その數殆ど五十有餘種にも上るべけれど、眞にその眞蹟として斷定し得べきものは僅にその過半数のみ。

本書の如きも亦嚴密なる史眼を以てすれば、或はそが眞蹟と決する能はざるも、今はたゞ眞宗聖教の書史學的研究資料として敢へて是を掲げたるのみ。原寸竪一尺一寸横五寸九分。（目下無倫）

圖版Web非公開

(藏寺願本東) 葉一 簡斷文證多一蹟演御人聖慈親

會 則

第一條 本會ハ佛教研究會ト稱ス

第二條 本會ハ佛教並ニコレニ關聯スル諸般ノ研究ヲナスヲ目的トス

第三條 本會ハ大谷大學敎職員學生及本會ノ主旨ニ賛同スルモノヲ以テ組織ス

第四條 本會ノ事業左ノ如シ

一、隔月一回例會ヲ開ク

二、隨時講演會ヲ開ク

三、年四回「佛教研究」ヲ刊行ス

四、隨時出版ヲナス

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

一、理事 一名

一、評議員 若干名

一、委員 若干名

一、書記 若干名

第六條 本會々員ハ「佛教研究」ノ配布ヲ受ケ例會及講演會ニ出席スルコトヲ得

第七條 本會々員ハ年額金參圓ヲ納ムルモノトス

佛教研究 年四回七月發行
會費年額金參圓
一部賣代金ハ隨宜申シ受ク

廣告料 一頁 金拾五圓、半頁 金拾圓

佛教研究第六卷第一號

大正十四年二月十五日印刷
大正十四年二月二十日發行

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼 佛教研究會
發行者

右代表者 沼波 政憲

印刷者 須磨 勘兵衛
京都市北小路通新町西入

印刷所 京都市西洞院通七條南入
内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市烏丸頭大谷大學内
振替大阪四四九九七番

佛教研究會